

外装材 組立説明書

組立説明書は大切な書類です。
本書は必ずお客様にお渡しください。

① 組み立て完了後は必ず切粉を取り除いてください。
② 安全のため必ず手袋を着用してください。

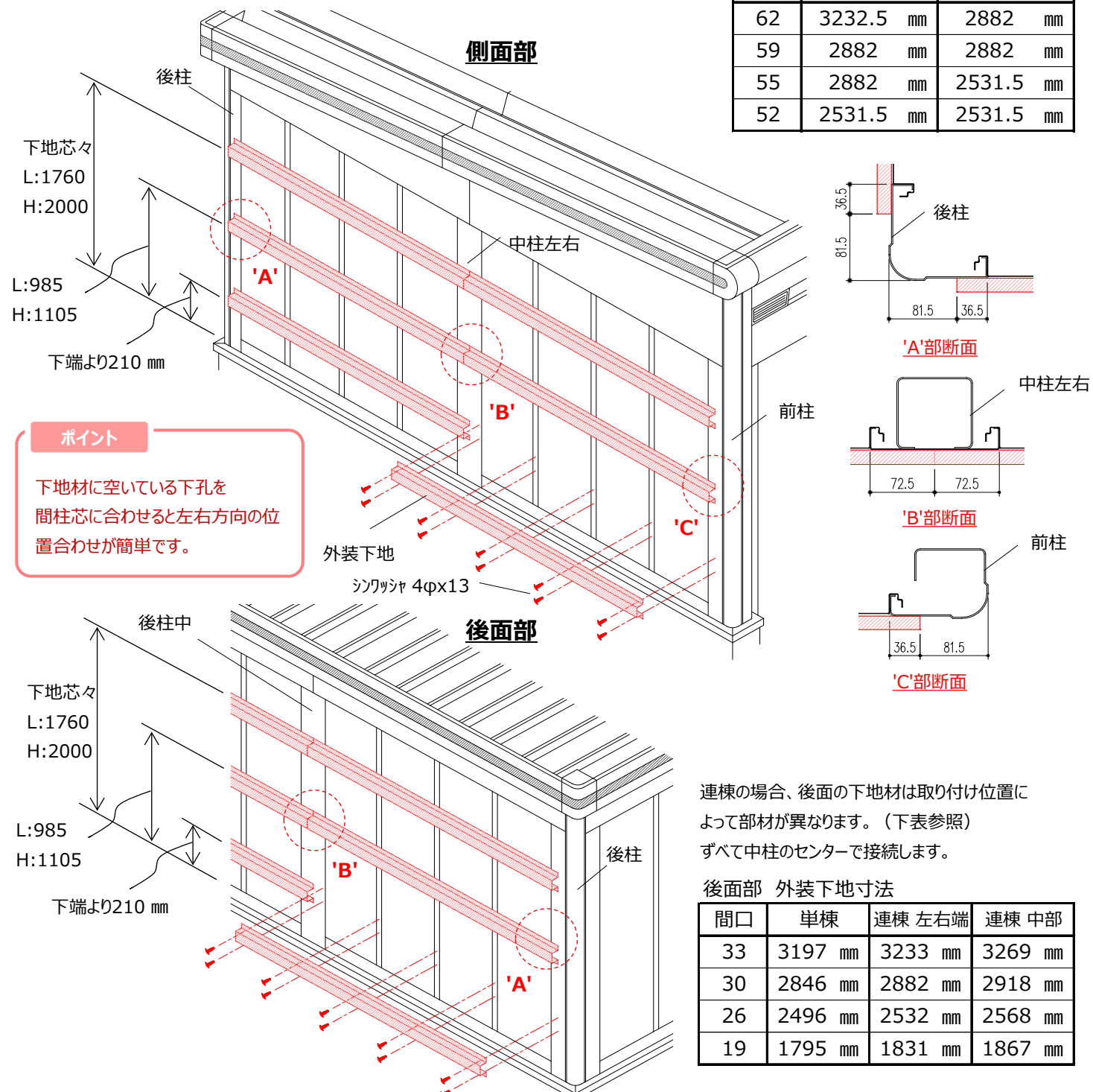
① **外装下地**（6本/片面）を本体側面の間柱および前柱、中柱、後柱にビス固定します。

② **外装下地**（3本/棟）を本体後面の間柱および中柱、後柱にビス固定します。

※下地材はすべて中柱のセンター合わせで取付けます。

側面部 外装下地寸法

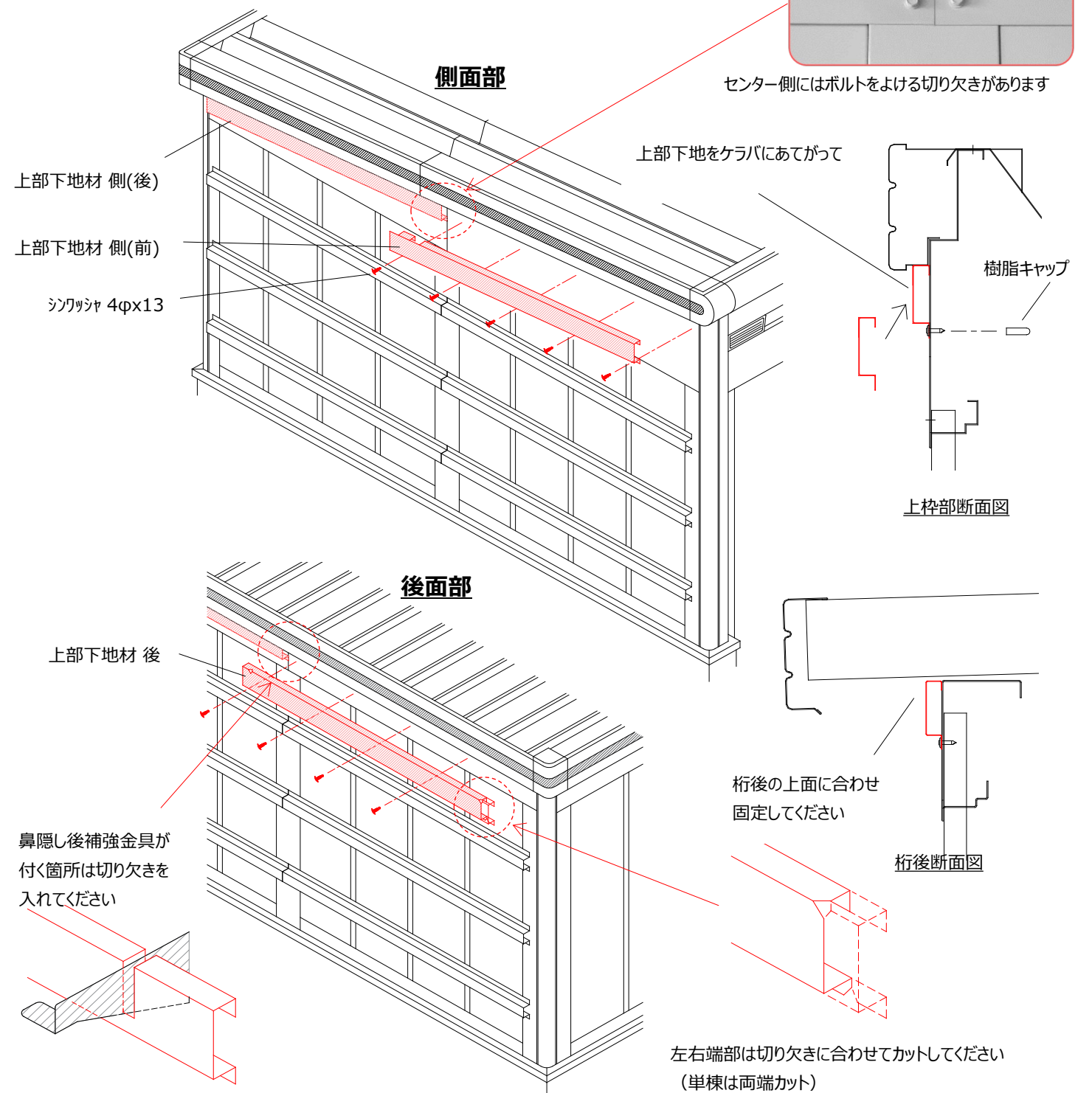
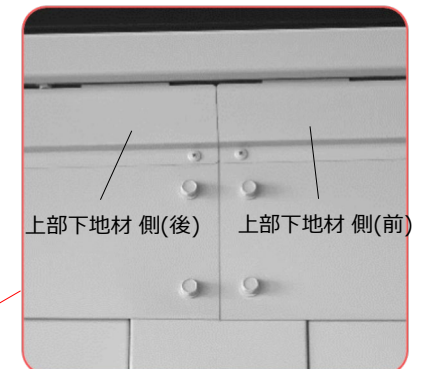
奥行	前（水上側）	後（水下側）
62	3232.5 mm	2882 mm
59	2882 mm	2882 mm
55	2882 mm	2531.5 mm
52	2531.5 mm	2531.5 mm



- ① **上下地材 側**（2本/片面）をケラバにあてがい、本体の上桢左右にビス固定します。
- ② 庫内側に飛び出たビスには**樹脂キャップ**を取付けます。（上桢、柱部分）
- ③ **上下地材 後**（1本/棟）を本体の桁後上面にビス固定します。

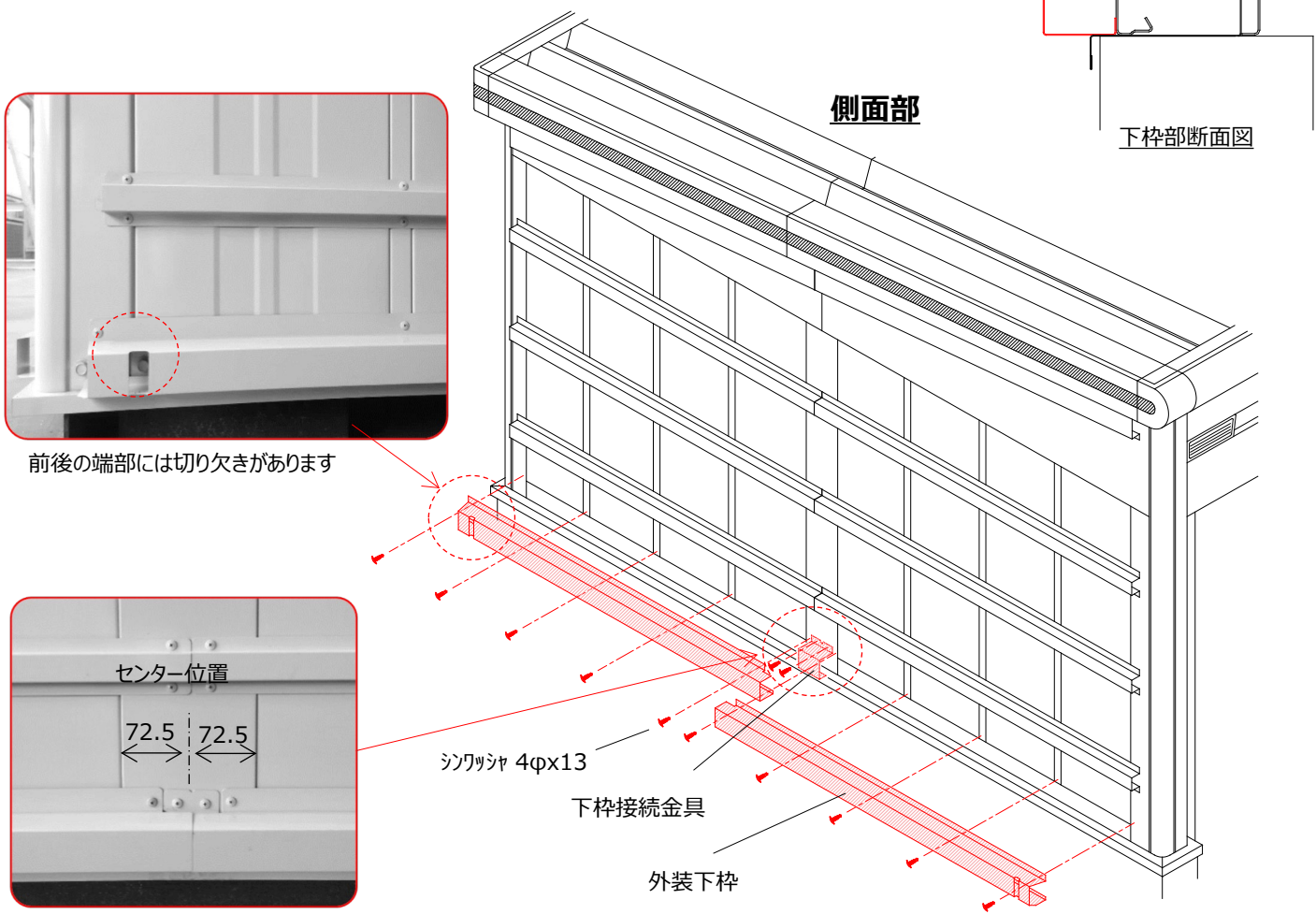
上下地材 後の左右端部は切り欠きに合わせて部材をカットしてください。

※下地材はすべて中柱のセンターに合わせて取付けます。



3. 外装下枠の取付け

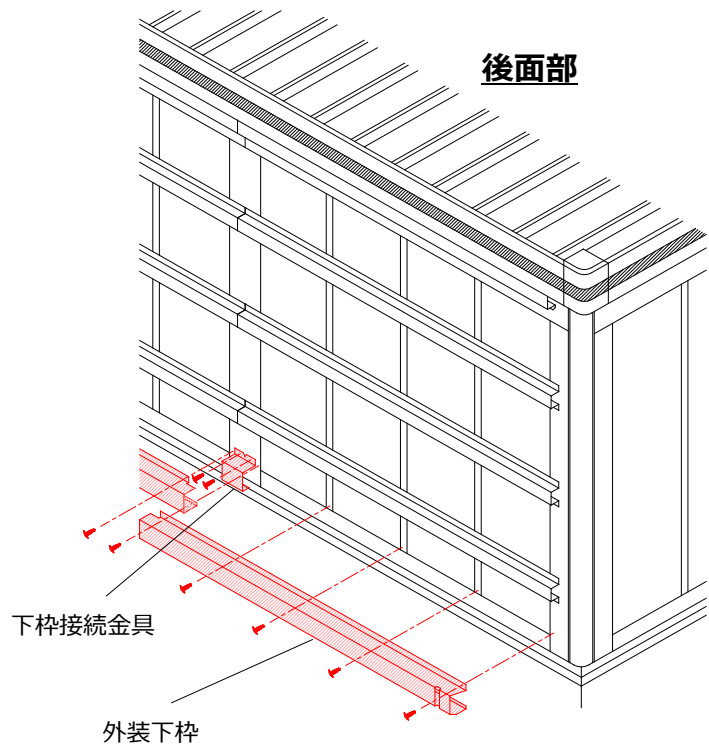
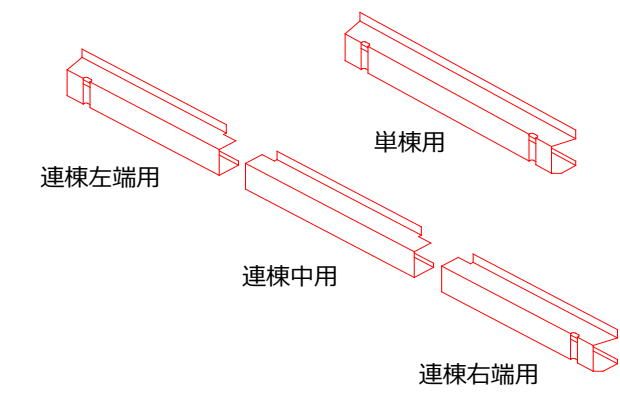
- ① 下枠接続金具（1ヶ/片面）を本体中柱に取付けます。
 - ② 外装下枠（2本/片面）を側面部（本体柱、間柱）に取付けます。
 - ③ 外装下枠（1本/棟）を後面部（本体柱、間柱）に取付けます。
- ※下枠はすべて中柱のセンター合わせで取付けます。



ポイント

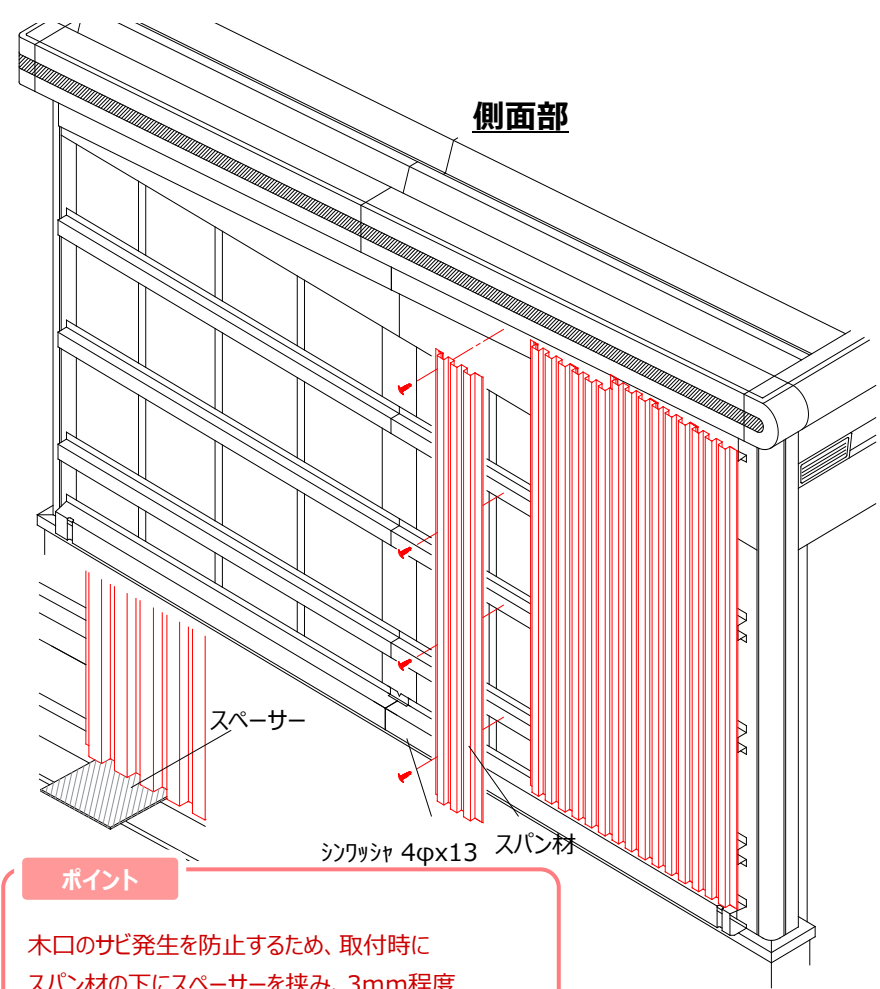
下枠の突き合わせ部分は隙間が生じないように注意してください。

連棟の場合、後面の下枠は取り付け位置によって部材が異なります。（下図参照）
すべて中柱のセンターで接続します。



3-1. 壁材の取付け（側面）

- ① スパン材を下地材、上部下地材にビス固定します。
水上側から、下地材の端と壁材の端を合わせて貼り始めてください。
右の表を参考に、L寸の長いものから順に取付けてください。
- ② 最後の1枚は下地材の端部に合わせ、縦切りを行ってください。



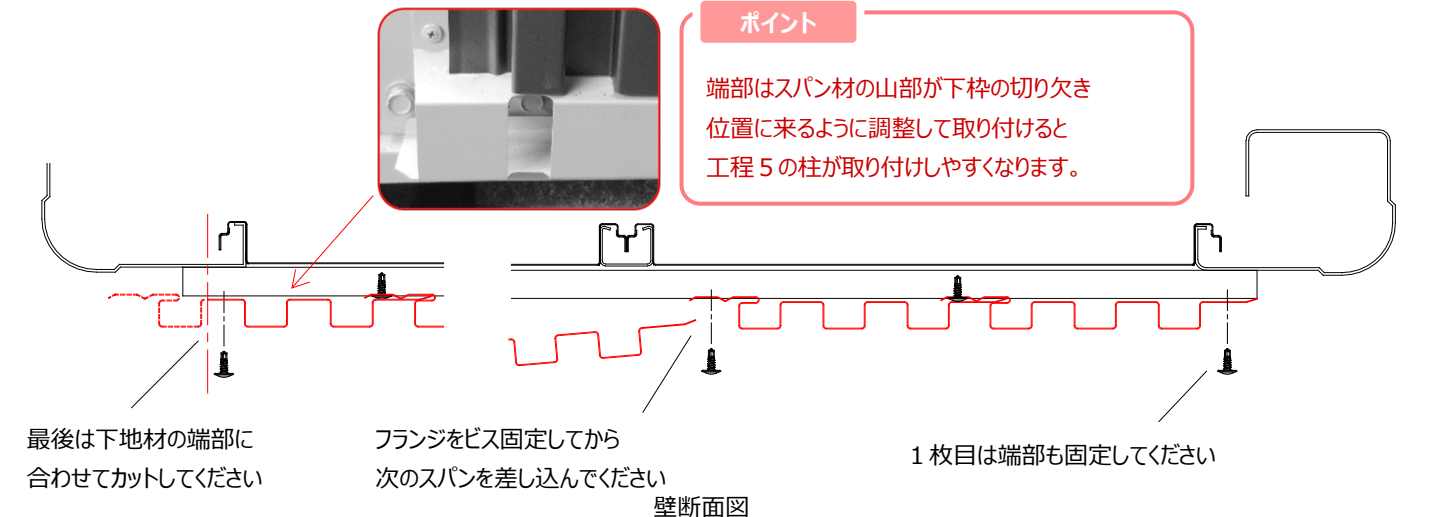
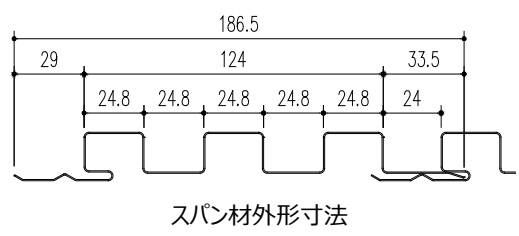
ポイント

木口のサビ発生を防止するため、取付時にスパン材の下にスペーサーを挟み、3mm程度

側面部スパン材 寸法・枚数表

側面 Lタイプ				
壁長さ	奥行62	奥行59	奥行55	奥行52
2110 mm	5	5	5	4
2087 mm	6	5	5	5
2064 mm	6	5	4	4
2041 mm	5	5	5	4
2018 mm	5	5	5	5
1995 mm	5	5	4	4
1972 mm	5	5	5	5
1949 mm	4	4	4	3

側面 Hタイプ				
壁長さ	奥行62	奥行59	奥行55	奥行52
2350 mm	5	5	5	4
2327 mm	6	5	5	5
2304 mm	6	5	4	4
2281 mm	5	5	5	4
2258 mm	5	5	5	5
2235 mm	5	5	4	4
2212 mm	5	5	5	5
2189 mm	4	4	4	3



ポイント

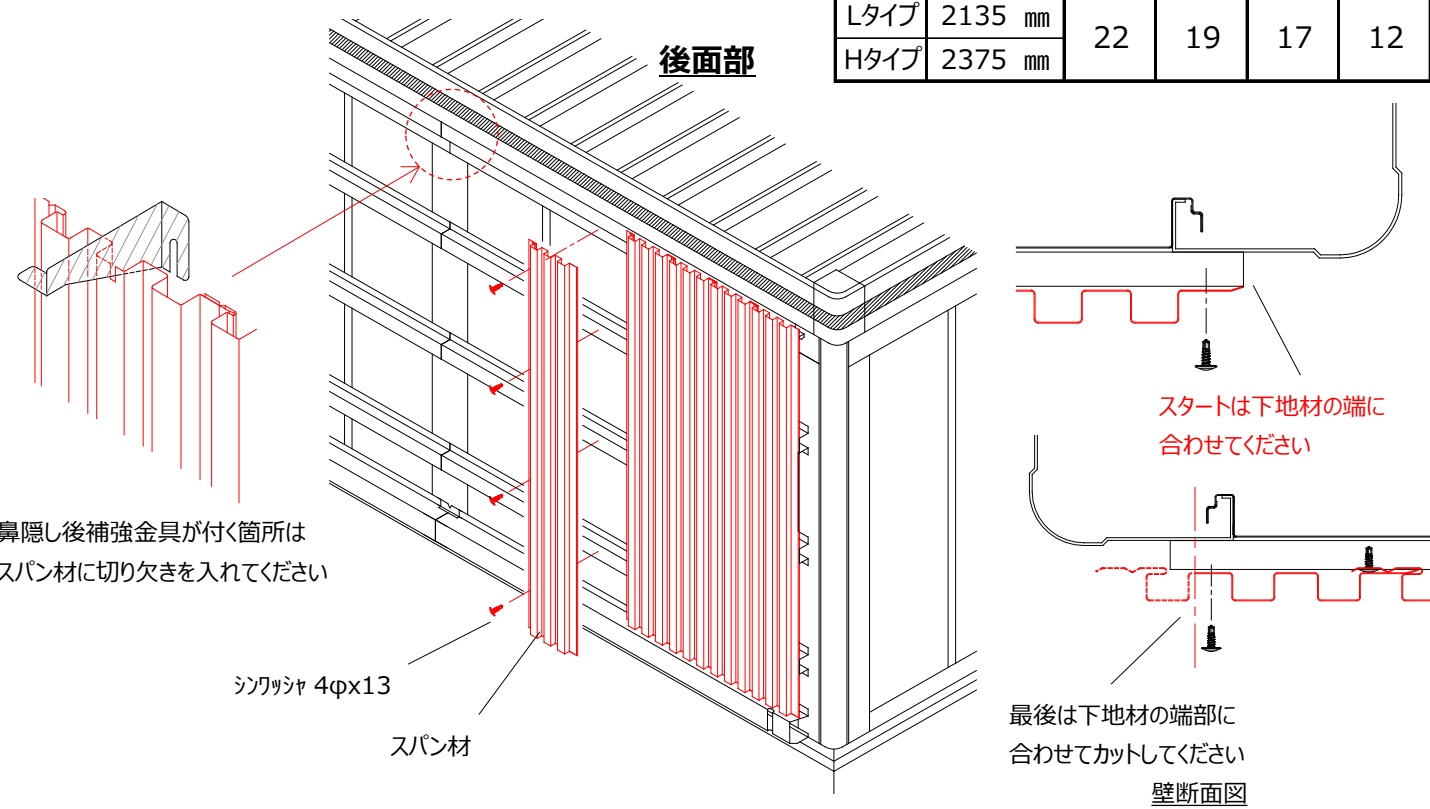
最後の縦カットはスパン材の谷部でカットすると加工・取付けが容易になります。

ポイント

スパン材は取付時に押し込みすぎるとたわみが生じ見た目が悪くなりますので

3-2. 壁材の取付け（後面）

- ① **スパン材**を下地材、上部下地材にビス固定します。
スパン材は左右どちらから張り始めても問題ありません。
（説明は右から張り始める絵で説明しています）
張り始めは下地材の端と壁材の端を合わせて貼り始めてください。
- ② 最後の1枚は下地材の端部に合わせ、縦切りを行ってください。



後面部スパン材 寸法・枚数表

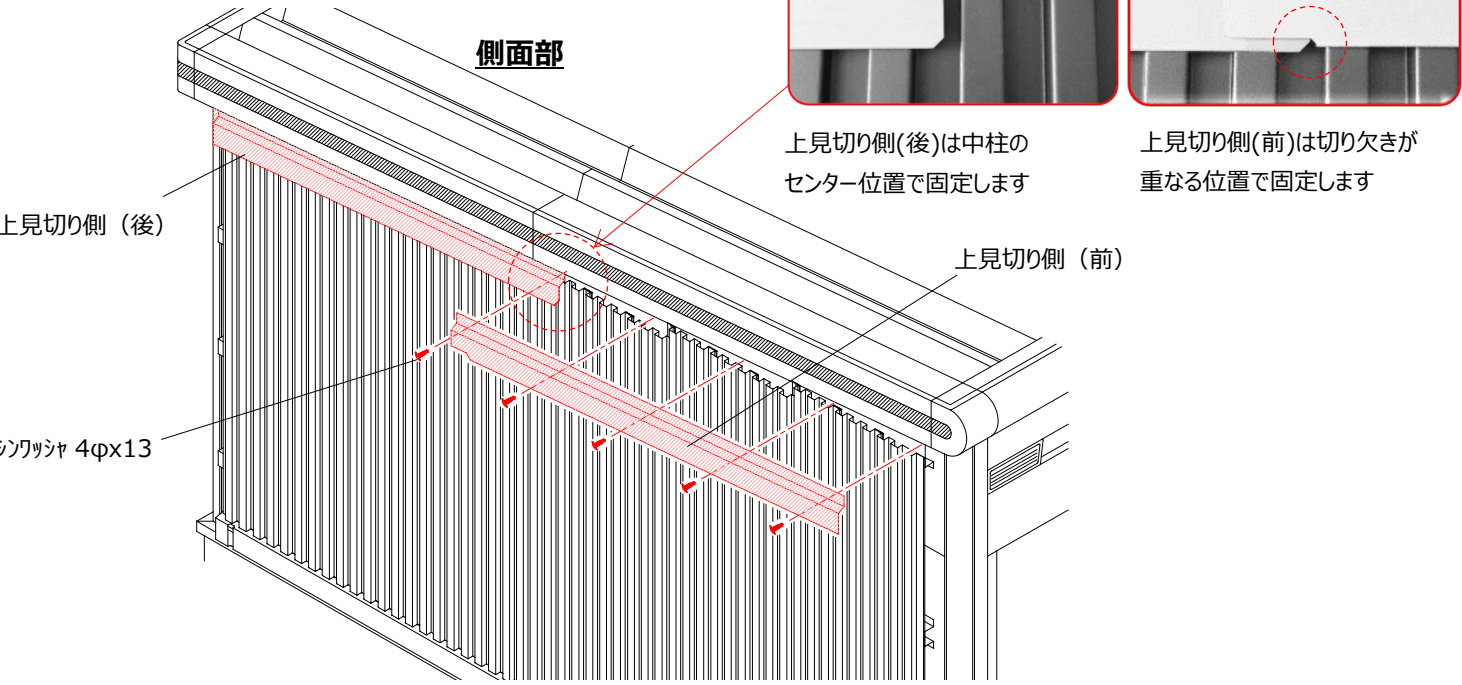
後面	壁長さ	間口33	間口30	間口26	間口19
Lタイプ	1980 mm	22	20	18	14
Hタイプ	2220 mm				

※参考 前面（目隠し）部スパン材 寸法・枚数表

前面	壁長さ	間口33	間口30	間口26	間口19
Lタイプ	2135 mm	22	19	17	12
Hタイプ	2375 mm				

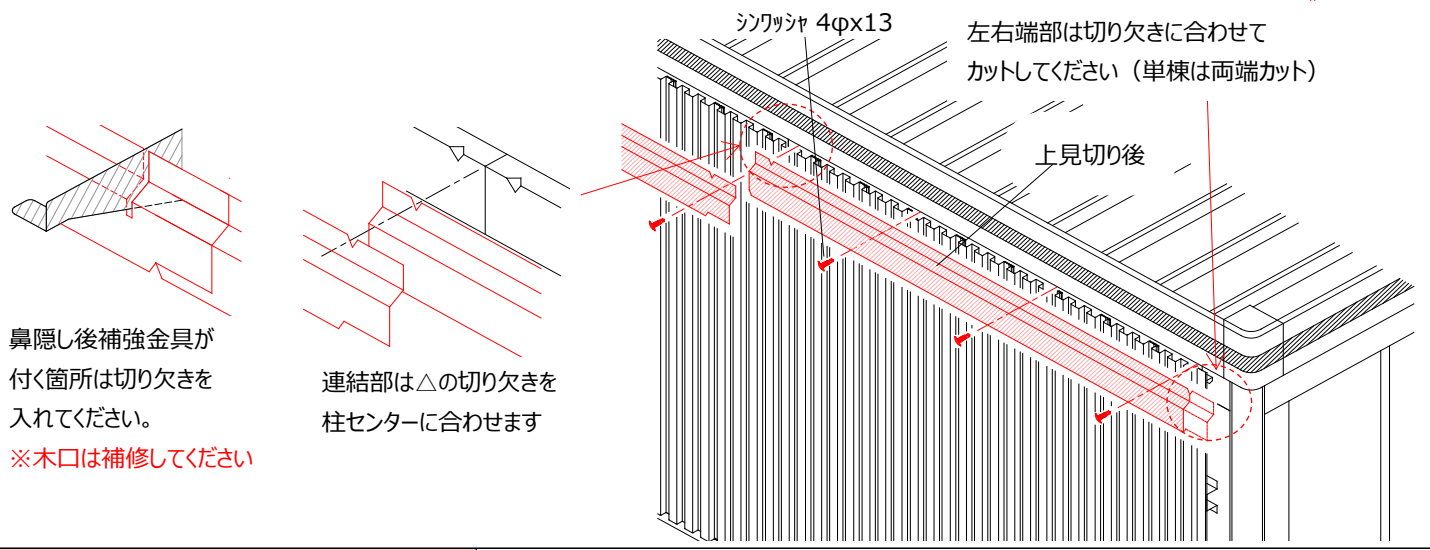
4-1. 上見切り側の取付け（側面）

- ① **上見切り側**（2本/片面）を上部下地材にビス固定します。
上見切り側(後)を先に取り付け、**上見切り側(前)**を上から重ねます。
取り付け位置は右の写真を参考にしてください。



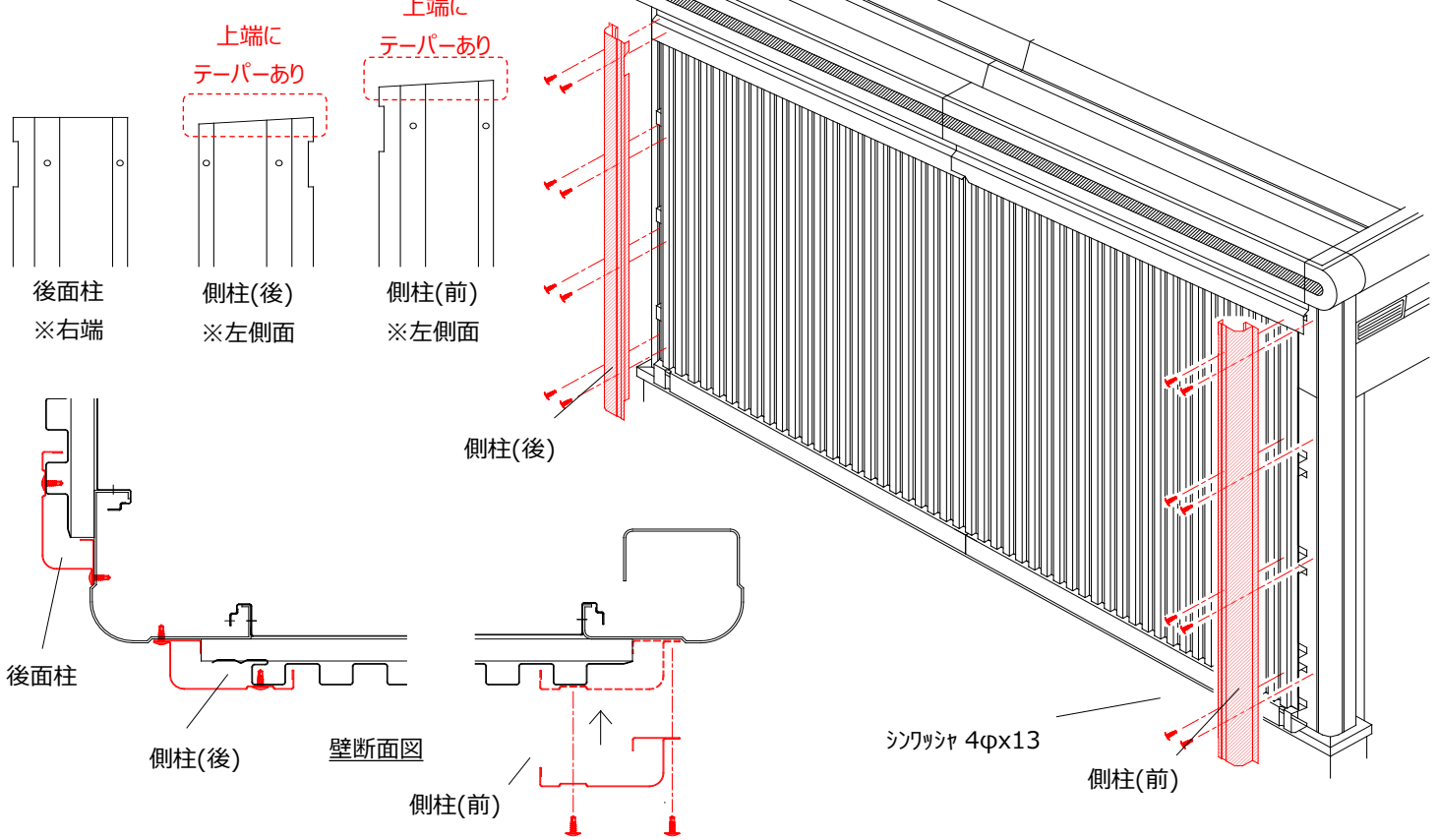
4-2. 上見切り後の取付け（後面）

- ① **上見切り後**を上部下地材にビス固定します。
後面から見て、**右側**から順に取り付けていきます。
左右端部は切り欠きに合わせて部材をカットしてください。



5. 外装用柱の取付け

- ① **外装用柱**を本体柱、スパン材、上見切りにビス固定します。



6. 完成（側面・後面）

- ・ビスのとめ忘れ等がないかもう一度確認してください。
- ・工事完了後は必ず切粉を取り除いて下さい。切粉はもらいサビの原因となります。

補足①
オープンスペース部分 取付要領

部材表

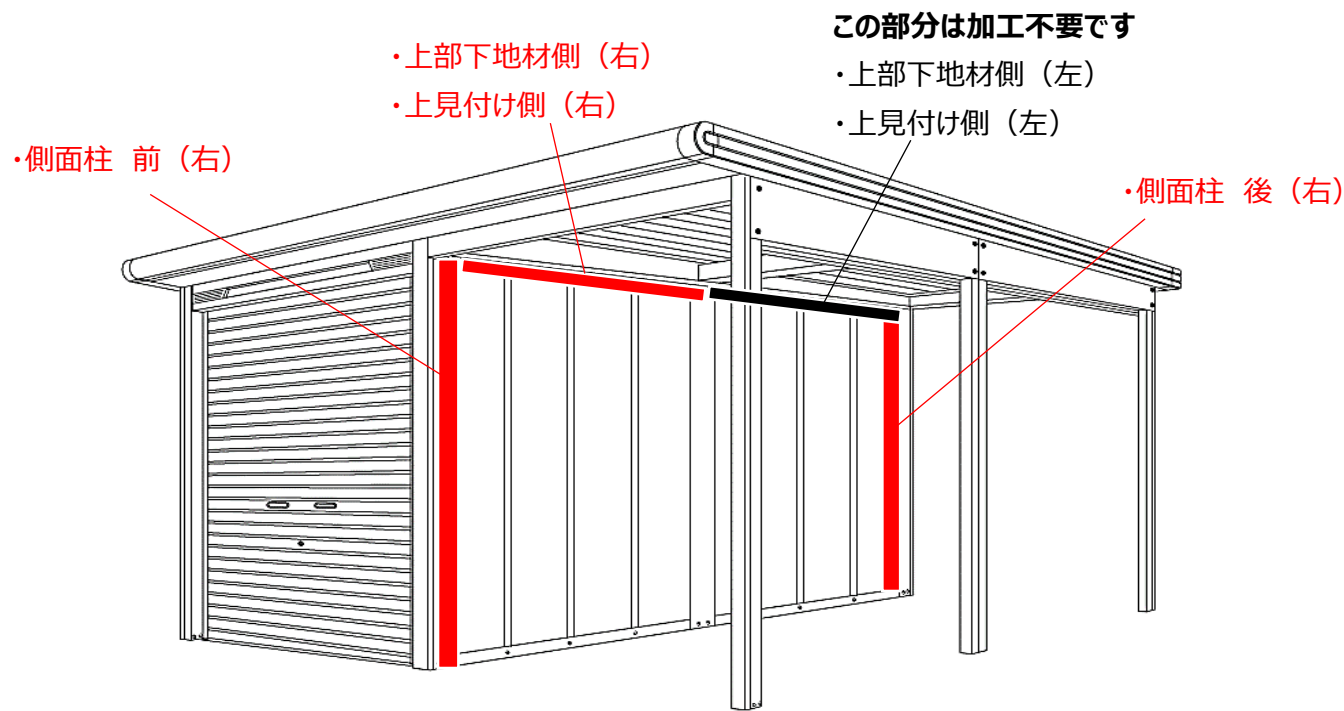
- ・ オープンスペース部はスパン長さが標準より短くなります。
梱包「VG4-8971～8977（Lタイプ）」「VG4-8981～8987（Hタイプ）」を使用し、
下記表を参考に、取付けを行ってください。

側面オープンスペース側 Lタイプ					側面オープンスペース側 Hタイプ				
壁長さ	奥行62	奥行59	奥行55	奥行52	壁長さ	奥行62	奥行59	奥行55	奥行52
1945 mm	5	5	5	4	2185 mm	5	5	5	4
1922 mm	6	5	5	5	2162 mm	6	5	5	5
1899 mm	6	5	4	4	2139 mm	6	5	4	4
1876 mm	5	5	5	4	2116 mm	5	5	5	4
1853 mm	5	5	5	5	2093 mm	5	5	5	5
1830 mm	5	5	4	4	2070 mm	5	5	4	4
1807 mm	5	5	5	5	2047 mm	5	5	5	5
1784 mm	4	4	4	3	2024 mm	4	4	4	3

- ・ 枠材は標準と同じ梱包、部材を使用します。

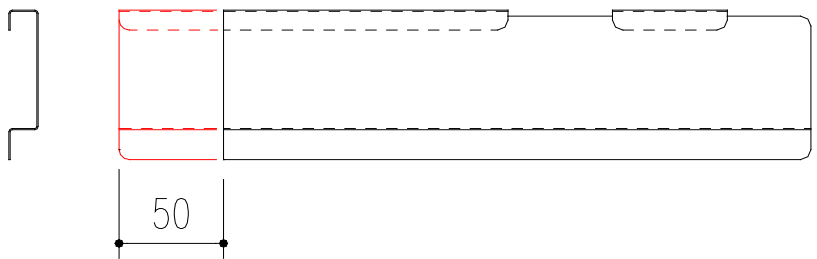
外装部材の加工

- ・ 下記部材の加工を行い、標準と同様に取付けを行ってください。



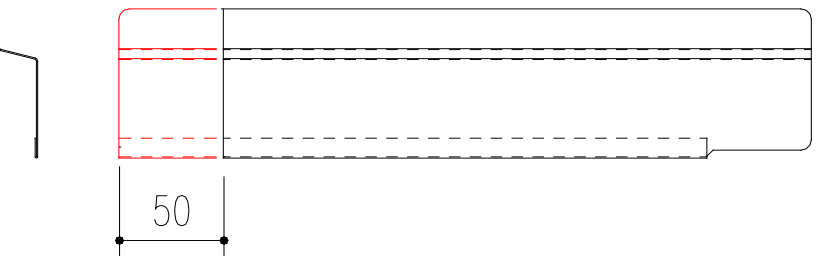
【上部下地材側の加工】

- ・ 前側（切り欠きのない方）をカットします



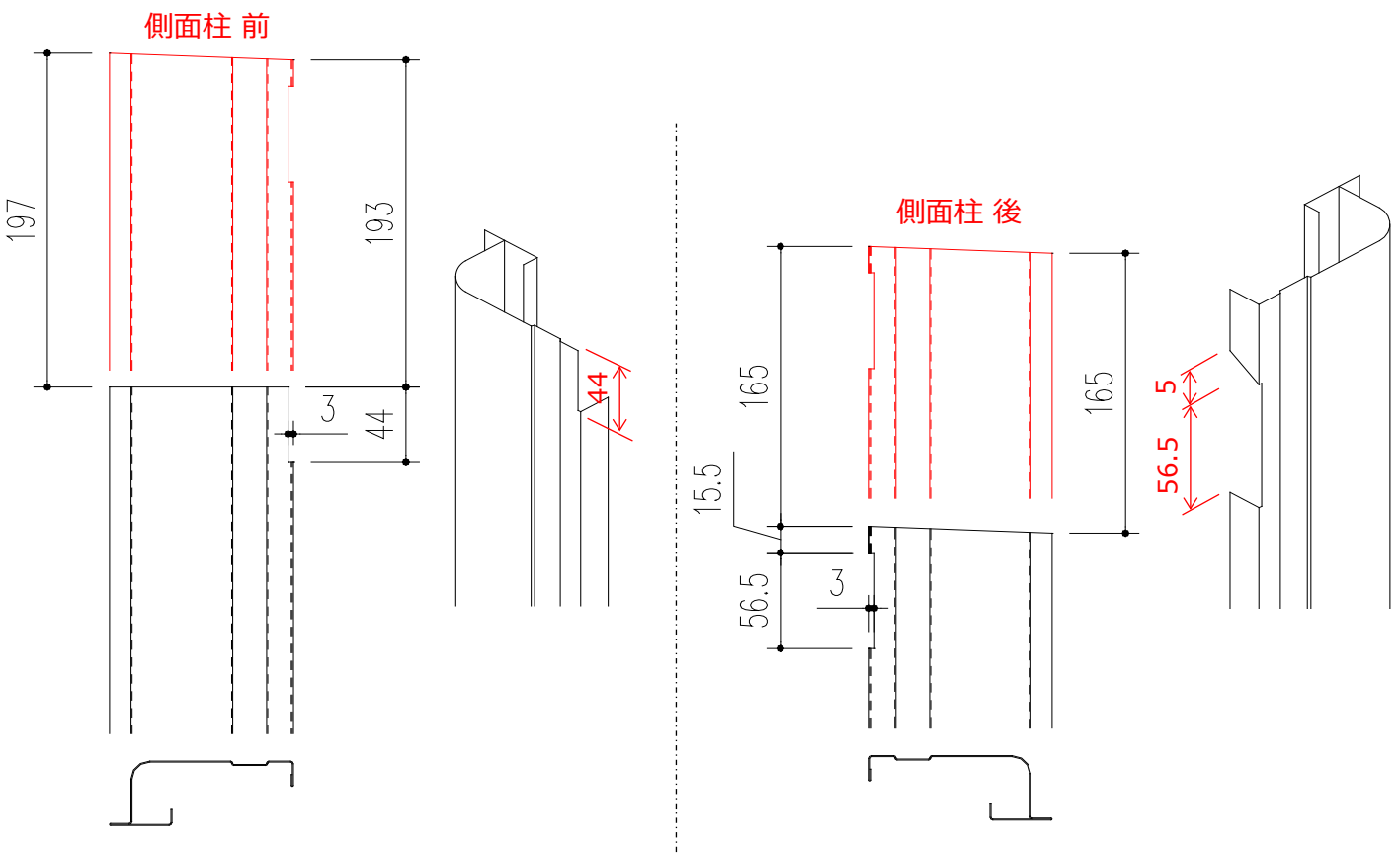
【上見付け側の加工】

- ・ 前側（切り欠きのない方）をカットします



【側面柱前、後の加工】

- ・ 下図に従い、部材の上部をカットし切り欠きをつけてください



補足② 目隠し部分 取付要領

・ 本体、各オプションの取付けは完了しておいてください。

部材表

・ 枠材、役物一式

機種	間口	梱包番号			
		単棟用	連棟 左端	連棟 中	連棟 右端
Lタイプ	19	VG4-8816	VG4-8816-L	VG4-8816-N	VG4-8816-R
	26	VG4-8817	VG4-8817-L	VG4-8817-N	VG4-8817-R
	30	VG4-8818	VG4-8818-L	VG4-8818-N	VG4-8818-R
	33	VG4-8819	VG4-8819-L	VG4-8819-N	VG4-8819-R
Hタイプ	19	VG4-8820	VG4-8820-L	VG4-8820-N	VG4-8820-R
	26	VG4-8821	VG4-8821-L	VG4-8821-N	VG4-8821-R
	30	VG4-8822	VG4-8822-L	VG4-8822-N	VG4-8822-R
	33	VG4-8823	VG4-8823-L	VG4-8823-N	VG4-8823-R

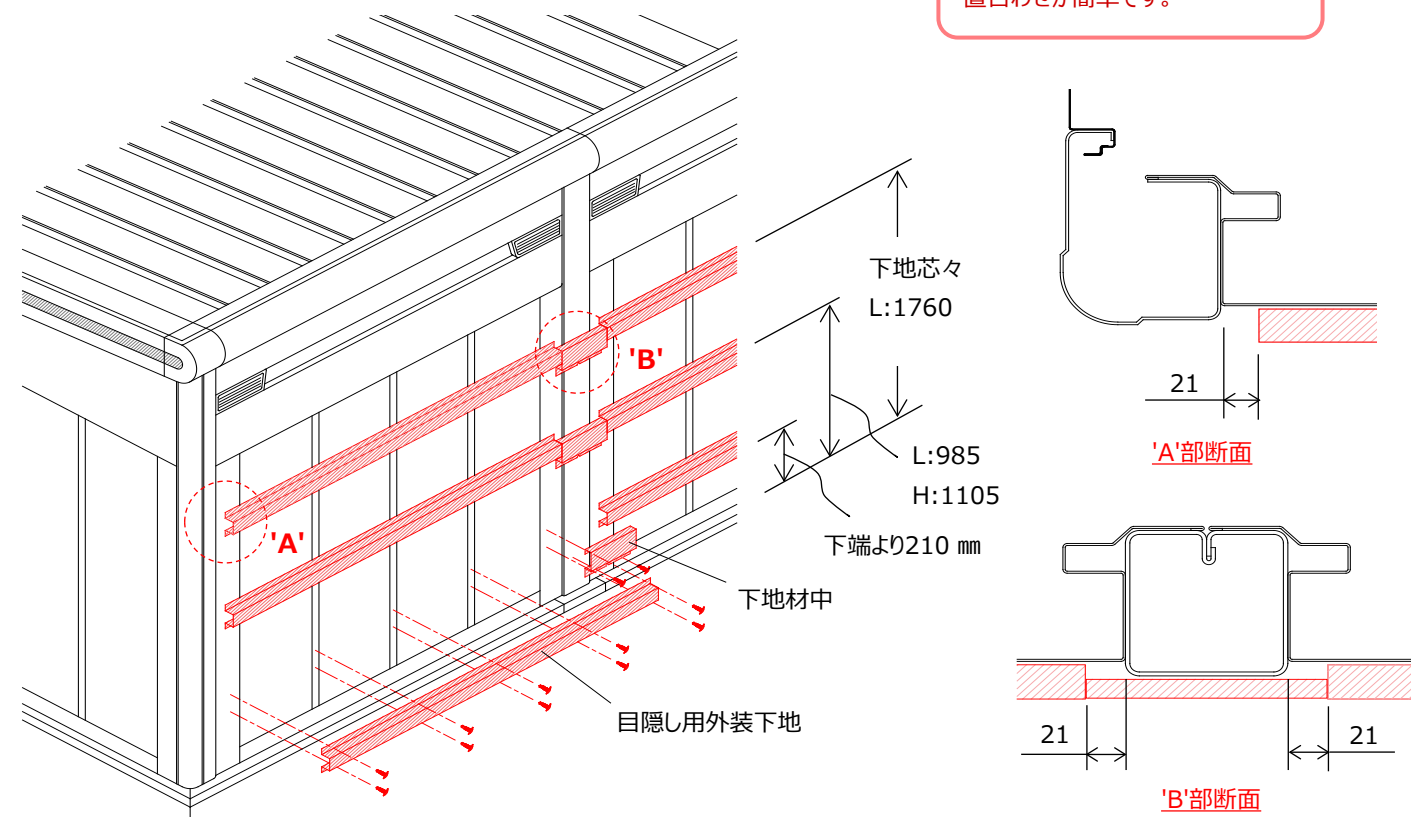
※連棟時も、1間口のみ取り付けの場合は単棟用となります

・ スパン材 寸法・枚数表

機種	壁長さ	間口33	間口30	間口26	間口19
Lタイプ	2135 mm	22	19	17	12
Hタイプ	2375 mm				

1. 外装下地の取付け

- ① 目隠し用外装下地（3本/面）を本体側面の間柱および前柱、中柱、後柱にビス固定します。
- ② 連棟の場合は、前柱中に 下地材中（3本/柱）を取り付けます。

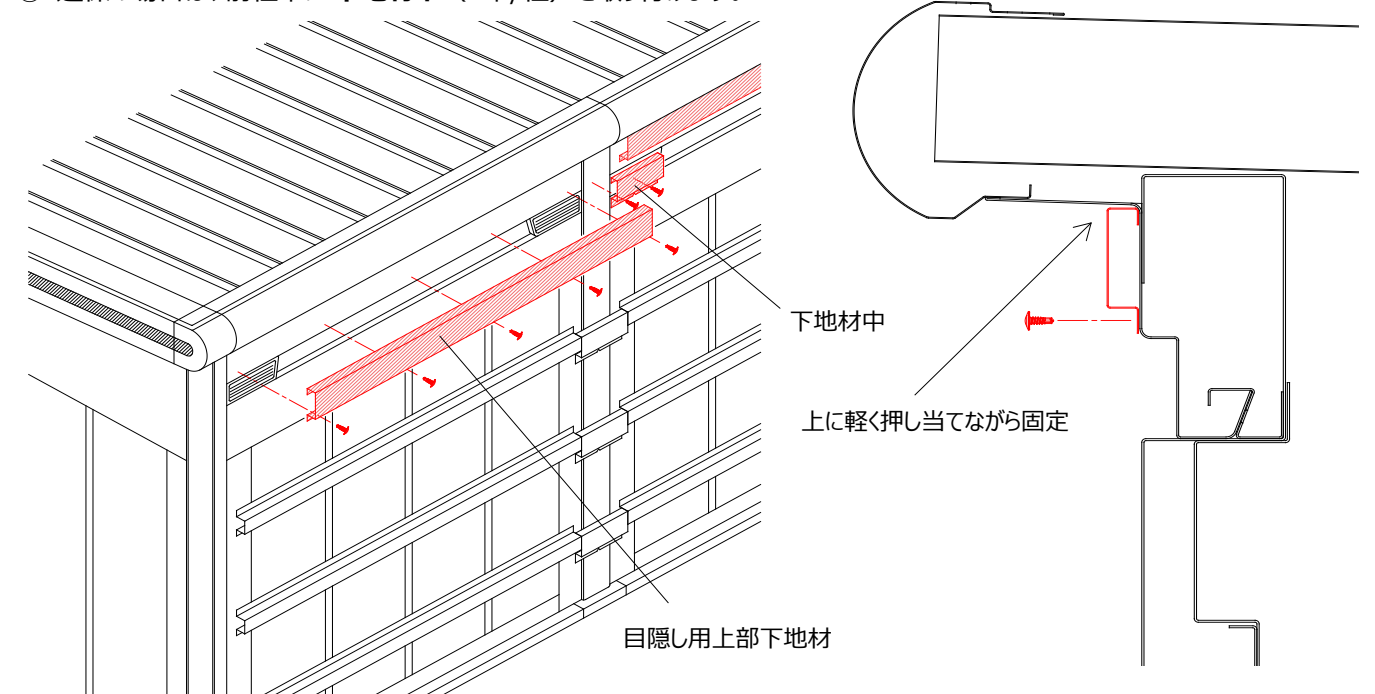


ポイント

下地材に空いている下孔を
間柱芯に合わせると左右方向の位
置合わせが簡単です。

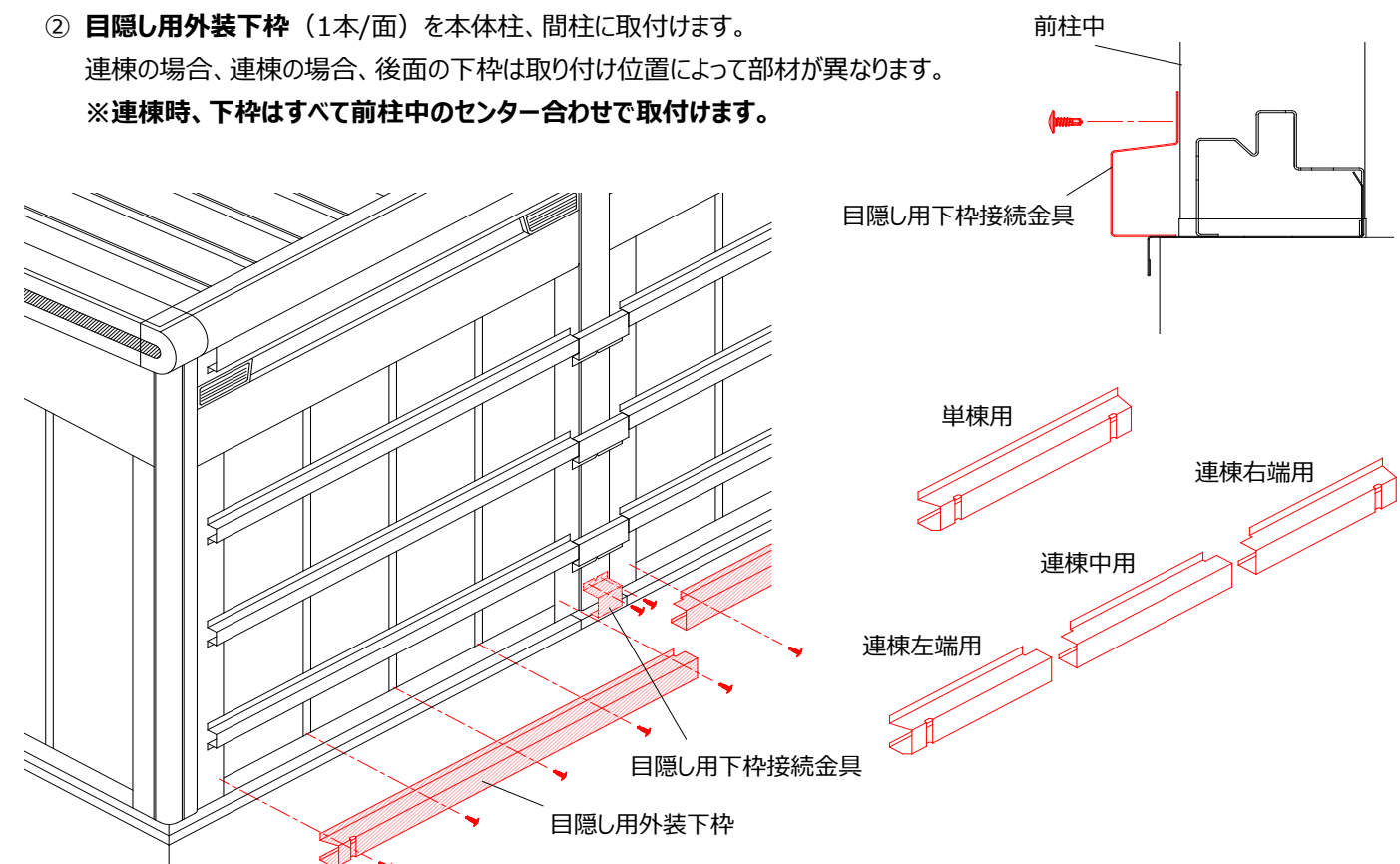
2. 上下地材の取付け

- ① 目隠し用上下地材（1本/面）を桁前カバーにあてがいビス固定します。
- ② 連棟の場合は、前柱中に 下地材中（1本/柱）を取り付けます。



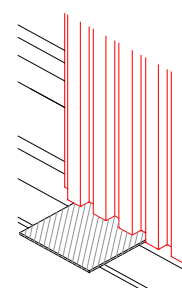
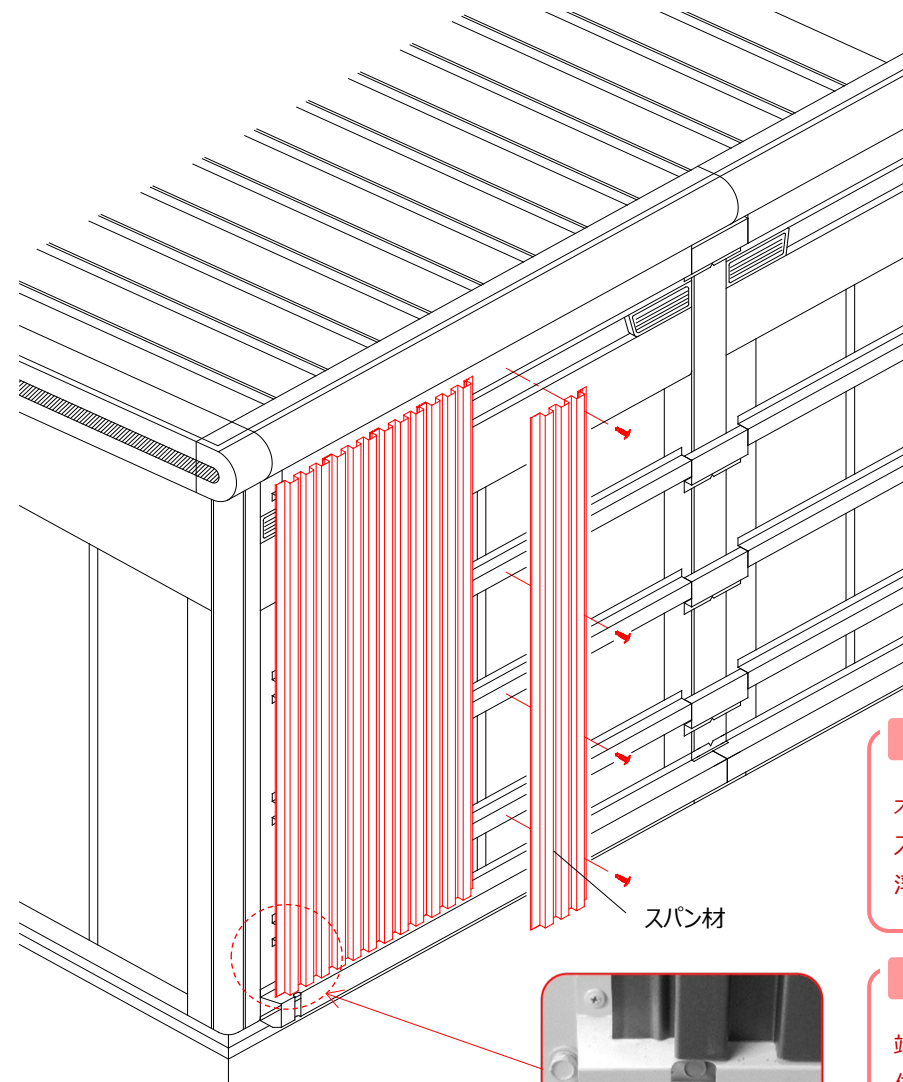
3. 外装用下枠の取付け

- ① 連棟の場合、目隠し用下枠接続金具（1ヶ/柱）を前柱中のセンターに取付けます。
- ② 目隠し用外装下枠（1本/面）を本体柱、間柱に取付けます。
連棟の場合、連棟の場合、後面の下枠は取り付け位置によって部材が異なります。
※連棟時、下枠はすべて前柱中のセンター合わせで取付けます。



4. 壁材の取付け

- ① **スパン材**を下地材、上部下地材にビス固定します。
スパン材は左右どちらから張り始めても問題ありません。
(説明は左から張り始める絵で説明しています)
張り始めは下地材の端と壁材の端を合わせて貼り始めてください。
- ② 最後の1枚は下地材の端部に合わせ、縦切りを行ってください。

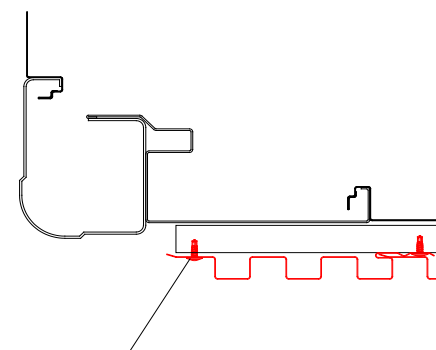
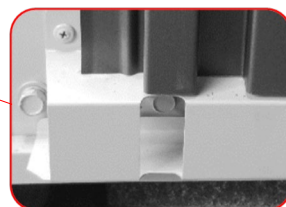


ポイント

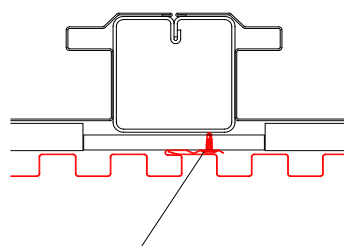
木口のサビ発生を防止するため、取付時にスパン材の下にスペーサーを挟み、3mm程度浮かせて取り付ける事をおすすめします。

ポイント

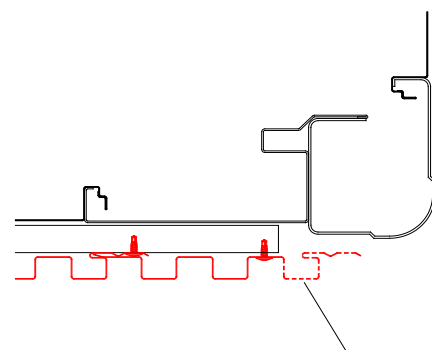
端部はスパン材の山部が下枠の切り欠き位置に来るように調整して取り付けると工程6の柱が取り付けしやすくなります。



1枚目は端部も固定してください



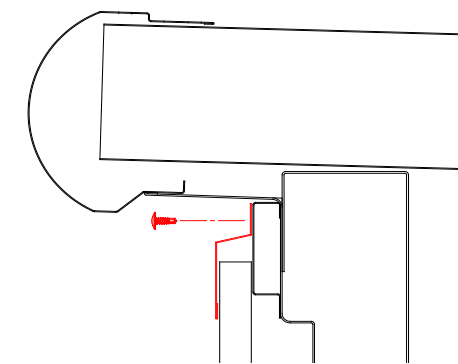
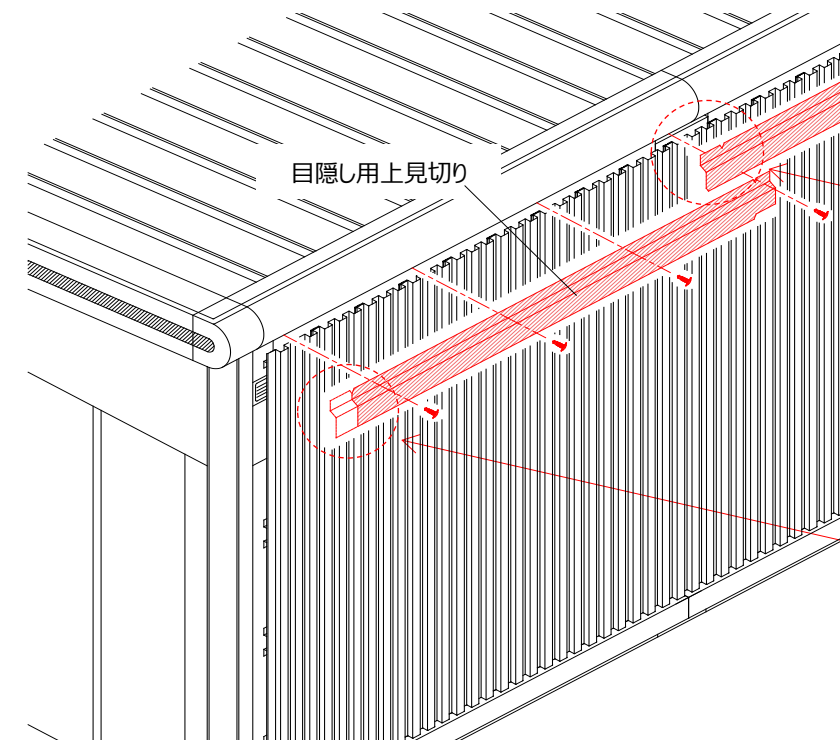
連結部は下地中で固定します
(下地中をまたぐ場合は固定不要)



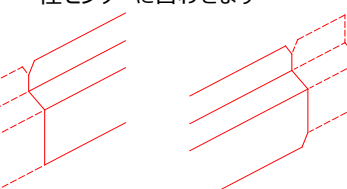
最後は下地材の端部に
合わせてカットしてください

5. 上見切りの取付け

- ① **目隠し用上見切り**を上部下地材にビス固定します。
正面から見て、**右側から順に**取り付けしていきます。
**連棟の場合、左右端部は切り欠きに合わせて部材をカットし、
上部下地に端を合わせて取付け始めてください。**



連結部は△の切り欠きを
柱センターに合わせます

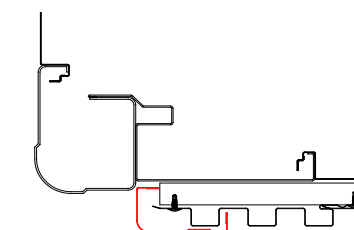
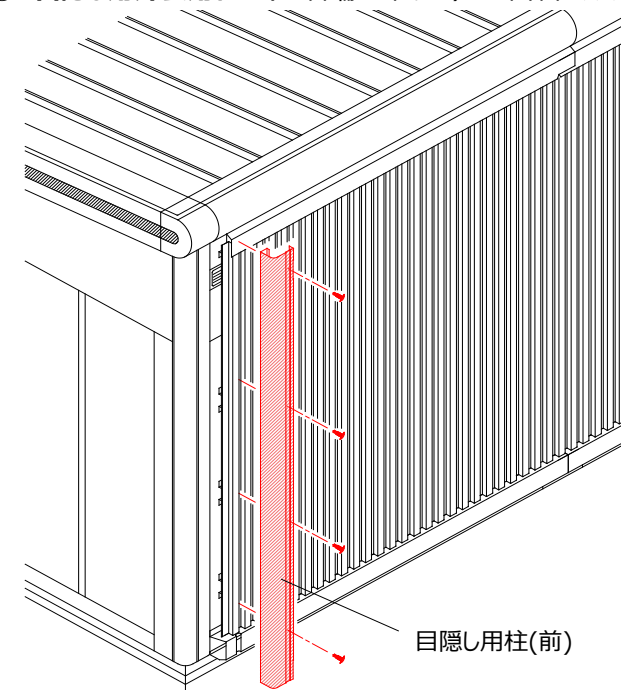


左端 右端

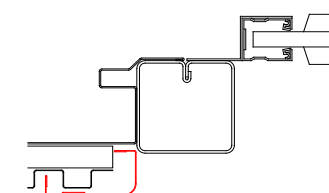
左右端部は切り欠きに合わせてカットしてください
(単棟および1間口の場合は加工不要です)

6. 外装用柱の取付け

- ① **目隠し用外装用柱** (左右端1本ずつ)を本体柱、スパン材、上見切りにビス固定します。



左右端部



途中でシャッターとなる場合

7. 完成 (正面)

- ・ビスのとめ忘れ等がないかもう一度確認してください。
- ・工事完了後は必ず切粉を取り除いて下さい。切粉はもらいサビの原因となります。

ヨドコウ

VGC_OPDS01_KS_2025A_GAISOU